

連携医院のご紹介

今回は“循環器・消化器の専門分野から一般内科までカバーするかかりつけ医”を目指しておられる、中区舟入幸町にある「ひらお循環器消化器クリニック」の平尾秀和院長にお話を伺いました。



平尾院長(前列右)、光井副院長(前列左)とスタッフの皆さん

ひらお循環器 消化器 クリニック

〒734-0844
広島市中区舟入幸町4番2号
クリニックモール舟入3F
電話 / 082-532-2611
院長 / 平尾 秀和
診療科目 / 内科・循環器内科・
消化器内科



▲ひらお循環器消化器
クリニックのある
クリニックモール
舟入外観

待合室 ▶



○いつ開業されましたか。

2016年9月5日に循環器疾患・消化器疾患を専門とするクリニックとして当地に開業しました。今まで広島大学病院、土谷総合病院、県立広島病院など広島市内での勤務が多く、病診連携もしやすく、なじみのある広島市内での開業をさせて頂く事となりました。

○開業されたから今までのことを教えてください。

総合内科専門医に加え、院長は循環器専門医、副院長は消化器専門医の資格を持っており、専門的な視点で診察を行っていますが、一般内科、各種健診や予防接種なども行い、地域の方の健康増進に努めています。開業当初は「循環器消化器クリニック」という名前のためか、「難しい病気でないか」と診てもらえないのか、「普通の風邪症状では受診できないのか」などの問い合わせをいただくこともありました。今ではそのような問い合わせもなく、日々様々な訴えをもたれた患者さんの診察をさせて頂いています。自分の守備範囲をこえるものであれば、専門医などに適切に紹介などをさせて頂いています。

○力を入れている事は何ですか？

胸痛、動悸、腹痛などの訴えで受診される方が多くおられます。受診されたその日に、原因や重症度などを判断して、経過観察または内服治療で対応可能か、それとも専門病院への紹介が必要かなど、早めに治療方針を決定するように心がけています。なかには急性心筋梗塞や急性腹症など、緊急治療を要する疾患の方もおられ、その様な方を見逃さないように、詳細な問診や診察、レントゲン検査、心電図、超音波検査や各種血液検査を院内で迅速に検査して診断

しております。不整脈診断に有用なホルター心電図に関しましても、検査が終了次第、自院で解析し、早期に今後の治療方針を決める事が出来るように努めています。また、上部消化管内視鏡検査も行っており、希望があれば、鎮静剤を使用し苦痛のない検査が出来るように心がけています。

○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

優しく・丁寧に患者さんの話をよく聞くことを日々心がけています。患者さんの症状は様々であり、会話の中での些細なことが、診断の手がかりになることがあります。症状が軽いようでも大きな疾患が隠れていることもあり、対話を大事にし、その情報をもとに必要な検査を行い、早期発見・早期治療を目指しています。元々は、循環器疾患の患者様であっても、常に全身を診るよう心がけ、癌などの他疾患の合併がないかを意識しながら、副院長とも協力しながら診療に当たっています。

○県病院はどんなところで

通常の紹介だけでなく、緊急の紹介であっても、決して断られることなく、迅速に対応して頂き感謝しています。開業まで県病院で勤務させて頂いた事もあり、県病院には知っている先生が多く、顔もわかっている関係なので、連携を密にさせて頂いています。また専門医も多く患者さんを紹介するのに安心できる病院です。

【取材後記】

院長・副院長・スタッフ、皆さんの笑顔がとても素敵で雰囲気の良いクリニックでした。循環器・消化器の専門医が2人態勢で診察されており、心強い「かかりつけ医」だと感じました。

2020年12月広報誌『もみじ』掲載



ひらお循環器消化器クリニックHP